

平家伝説と伝統文化が残る歴史ロマンの島

しま しま

島々

もよう

vol. 6

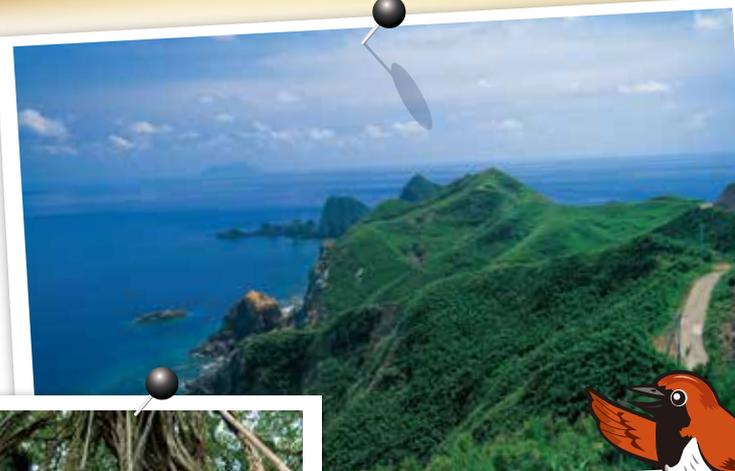
Tairajima

平島

実は平らではない、断崖の島

平島はトカラ列島の中ほどにあり、諏訪之瀬島から西へ約15キロメートルの沖合に浮かぶ小さな島です。島の名からは扁平な姿が想像されますが、実際には断崖の多い急峻な地形となっています。

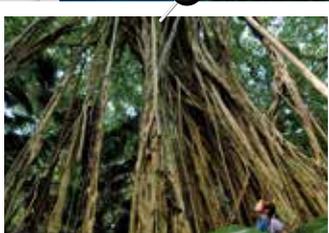
十島村の他の島々と同様に、のどかな風景が魅力で、浜では放牧された牛たちが水浴びをする姿を見ることがもできます。樹齢1000年以上といわれる大ガジュマル、甌穴(激しい波が岩を打ちつけてできた円形の大きなくぼみ)など、ダイナ



大浦展望台からの眺望は圧巻。島には国の天然記念物で、村島でもあるアカヒゲも生息しています。



◀ガジュマルの老木



昔からの風俗が色濃く残されていることも平島の大きな特徴です。祭りはすべて旧暦で実施され、例えば男の子が成人となったことを示す元服の儀式も、中世の形式をほとんど変えずに行われています。カセダウチと呼ばれる、豊作と島民の無病息災を祈って行われる

守り続けられる伝統文化

平島では県の「特定離島ふるさとおこし推進事業」を活用し、集落道路などの生活基盤の整備、東之浜海水浴場や大浦展望台といった観光施設の整備が進められてきました。また、国の「離島流通効率化事業」等を活用し、水産物鮮度保持加工施設をはじめとする産業振興施設も整備されています。



沖永良部島

与論島

島々メモ

平家の落人が築いたと伝えられている海辺の洞窟



島の北東部には、「平家の穴」という平家の落人がつくったとされる洞穴があります。ここで、追討軍の襲来を見張っていたと伝えられています。島にはかつて砦があったとされる場所もあり、ここにはのろし台や見張櫓、堀(平家堀と呼ばれる)の名残だといわれているものもあります。

祭りも盛り上がりがあります。旧暦の12月14日に実施され、ビロウの葉を体にまとった福德神(フットコジン)が、島の全家庭をまわります。道中では子供たちが福德神に水をかけ、福德神はそれのお返しに追い掛け回して炭を塗りつけます。島の風俗は、国土交通省が選定する「島のたから100景」に、「平家ゆかりの島の伝統文化」として選定されています。

- [位置] 北緯29度41分16秒/東経129度31分42秒
- [面積] 2.08km² [周囲] 7.23km
- [人口] 66人/38世帯 (平成26年12月31日時点)
- [地形] 最高峰は御岳(標高243メートル)。海岸部は切り立った崖が続く。
- [主な産業] 農業・畜産
- [アクセス] 鹿児島港から村営の「フェリーとしま(1,391t)」が週2便運行。車両運搬可。所要時間は鹿児島港から約8時間20分。

お問い合わせ先: 十島村役場 ☎099(222)2101

(所在地は鹿児島市内)